

# 学習成果の可視化に関する試案（3）

## —中国語初級段階における文法習得を中心に—

大島 吉郎（大東文化大学外国語学部）

# A Tentative Plan for the Visualization of Learning Achievement with a Focus on Chinese Beginner's Level Grammar (3)

OSHIMA Yoshiro

**Abstract**：本稿根据大島 2022，接着讨论在汉语教学入门及初级阶段中语法习得视觉化的方略。本稿主要主张日本人初学者在掌握汉语语法过程中应该着重学习与日语语序相反或不一致的语法规则，以比较容易掌握汉语语法在初级阶段中的思维方式和一些难点。

**Keywords**：可視化 中国語 入門・初級段階 文法

### 目次

- 0 はじめに
  - 1 北京语言学院语言教学研究所編 1986 《现代汉语频率词典》
  - 2 孔子学院总部編 《汉语国际教育汉语水平等级标准》
  - 2.1 範囲
  - 2.2 文法ポイント
  - 2.3 小結
  - 3 中国語検定試験データの利用
  - 4 おわりに
- 参考文献

### 0 はじめに

刘英林・李佩泽・李亚南（2020：152）によれば、2018年に孔子学院总部及び汉语考试国际组

により立案、計画された《汉语国际教育汉语水平等级标准》(以下《标准》と略称)は、2010年に策定された《汉语国际教育用音节汉字词汇等级划分》の後を承け、以下のような“三等九級”を骨組とする根本的な改定が行われたという。

表1 《汉语国际教育汉语水平等级标准》三等九級新范式(2018)

		音節	漢字	語彙	語法
高等	七一九級	202 / 1110	1200 / 3000	5636 / 11092	148 / 572
中等	六級	86 / 908	300 / 1800	1140 / 5456	67 / 424
	五級	98 / 822	300 / 1500	1071 / 4316	71 / 357
	四級	116 / 724	300 / 1200	1000 / 3245	76 / 286
初等	三級	140 / 608	300 / 900	973 / 2245	81 / 210
	二級	199 / 468	300 / 600	772 / 1272	81 / 129
	一級	269	300	500	48
総計		1110	3000	11092	572

この《标准》は2021年4月に北京語言大学出版社より刊行され、日本では2022年2月にアスクより『国際中国語教育中国語レベル等級基準』として日本語翻訳版が出版されている(以下『標準』と略称)。

一方日本では2022年に入って、一般財団法人日本中国語検定協会より『中検公式ガイドブック 準4級・4級』、『中検公式ガイドブック 3級』が相次いで刊行され、日中双方の代表的資格試験の基準が揃って示されつつある。

本稿は中国語入門、初級段階における「文法項目のチェックリスト(試案)」作成を目標に、HSK(「汉语水平考试」の略称)初等1級～3級の語法項目、中国語検定試験(以下「中検」と略称)入門、初級段階の準4級、4級、3級における文法事項の出題範囲を比較、検討することにしたい。

Grammar「文法」あるいはSyntax「統辞法」を中国語では“语法”と表現する。教育課程における学校文法、研究レベルにおける文法研究においてもおしなべて「文法」を“语法”(以下、本稿では中国語の文法について「语法」と称するのは、中国語が単音節語を基本とする(原則として漢字一文字が単語として機能する)言語的特徴を有するからであり、加えて中国語で「単語」を意味する“词”の複音節化についての法則性を明らかにする“构词法”、文の構造を対象とする“句法”(文法構造)とも共通性を持つ相補的な関係にあり、一つの体系を成していることによる。

学習成果の可視化という観点から、語彙(“词汇”)の問題を対象とすると、語の選択、意味、語構成、用法に焦点が絞られる。個別の語の用法を取り上げると、語法からの記述と重複することが指摘されるであろう。学習項目としての語彙の選択は、意味に応じて用法を確定し、例文とともに学習者に提示する必要がある、それはつまり学習事項としての語法の提示を行うことでもあり、

中国語においては語彙と語法の一体性をこの点に見ることが出来る。《標準》には1級～3級レベルの語彙2245、語法項目210が到達レベルとして挙げられており、中検では準4級約500語、4級1000語、3級2000語の習得と運用能力の獲得が目標として示されている。

入門、初級段階におけるこれら2245語、あるいは2000語とされる語が習得目標として示されているが、語法習得と連動させながらチェックリストを作成する必要がある。まずは、《現代汉语頻率詞典》に示される“表六 前300个高频词分布情况分析”（pp.1289-1298）（以下“表六”と略称）から検討することにした。

## 1 北京语言学院语言教学研究所编 1986《現代汉语頻率詞典》

1986年に刊行された《現代汉语頻率詞典》は、同書前言によれば中国語基礎段階において、効率的学習を目標として、留学生、外国人学習者が学ぶべき常用8000語を策定するために行われた調査を基に編纂されている。言語資料には179種類に及ぶ資料、1978年から1980年に出版された10年制義務教育で使用される“語文”教科書など、全4類<sup>1</sup>約180万字を用いたという。

中国語教育の観点から、同書の資料的価値は極めて高いことが明らかである。中でも“表六”によって示される300語のリストは、入門、初級段階における語彙、語法習得の到達目標とすべき質的内容と価値を有するものと評価される。現代の情報化、インターネット、IT社会において名詞に限って言えば、“086同志／112革命／168敌人／212工人／216阶级／272斗争／273群众”<sup>2</sup>などアナロジーの観を否めない語も見られるが、一方中国の社会体制が改革開放後も変化を生じていない点に鑑みれば、歴史的継続性が存在する点も確認することが出来る。以下、“表六”に示される300語を品詞別に整理し、掲出することでチェックリストに供したい。項目末尾に括弧記される情報は“表六”に基づく。品詞が複数にまたがる語については《現代汉语辞典（第7版）》（2016商务印书馆）に基づき、釈義に記述される主たる品詞を採ることにした。

### 1.1 名詞（56語）

016人／054主义／058国／066时候／072家（名、尾）<sup>3</sup>／079工作／080人民／086同志／088话／089水／091手（名、尾）／092头（名）／097时／112革命／119事（名）／122社会／126心／127问题／130声（名）／139山／147地（名）／154身（名、尾）／157党／166东西／168

<sup>1</sup> 同書“編纂说明”参照。第一類：政治、経済、哲学、法律、歴史、地理、軍事など社会生活を反映する資料約44万字。第二類：中等教育レベルの数学・理科・科学、生物、医学、石油、鉄鋼、紡績、建築・土木技術、船舶・航海、宇宙技術、科学史、伝記、日常生活に関わる通俗的科学知識などの資料約28万4千字。第三類：現代話劇、相声、講釈、常用口語資料など約20万2千字。第四類：小説を始めとする文学作品、散文、童話、伝記など約88万字。

<sup>2</sup> 語ごとに添えられた数字はリストの順番を示す。例えば“001的／002了／003是／004一／005不／006在（介）／007有／008我／009个（量）／010他”のように、最上位は構造助詞“的”であり、第2位は動態助詞“了”、第3位は動詞“是”が占めており、重要度を測る基準となり得る。

<sup>3</sup> 1語に二つの品詞、あるいは用法を挙げている場合、品詞別、用法別に掲出を行う。

敌人 / 183 路 (名) / 189 孩子 / 200 世界 / 203 生活 / 205 门 (名) / 206 思想 / 212 工人 / 216 阶级 / 224 地方 / 227 河 / 229 会 (名) / 232 主席 / 235 脸 / 245 国家 / 246 科学 / 247 眼睛 / 248 经济 / 256 车 (名) / 263 时间 / 272 斗争 / 273 群众 / 277 员 (名、尾) / 284 船 / 286 句 / 287 书 / 289 情况 / 295 妈妈 / 296 风 / 297 眼 (名) / 298 钱 (名) / 300 树 (名)

1.1.1 時間詞 (5 語)

110 现在 / 155 以后 / 164 月 / 234 今天 / 290 日

1.1.2 方位詞 (8 語)

014 上 (名) / 024 里 (名) / 056 中 / 114 后 / 116 前 / 129 下 (名) / 161 边 / 174 外 / 236 内

1.2 動詞 (64 語)

003 是 / 007 有 / 015 说 / 025 来 (动) / 029 去 / 031 看 / 053 走 (动) / 055 用 / 057 到 (动) / 074 做 / 077 叫 / 081 想 (动) / 084 像 (动) / 094 打 (动) / 098 使 / 099 知道 / 104 在 (动) / 106 吃 / 115 成 (动) / 117 听 (动) / 128 回 (动) / 134 问 (动) / 138 见 / 146 写 / 156 放 / 160 开 (动) / 165 让 / 167 过 (动) / 172 出 (动) / 173 拿 (动) / 177 坐 / 178 笑 / 180 生产 / 181 带 (动) / 182 作 (动) / 186 给 (动) / 187 找 / 188 下 (动) / 190 看见 / 193 为 (动) / 194 跑 / 196 讲 / 199 研究 / 204 发展 / 207 站 (动) / 208 提 / 211 受 / 213 起 (动) / 218 死 (动) / 220 道 (动) / 233 上 (动) / 253 进行 / 254 发 (动) / 257 进 (动) / 261 学 (动) / 244 无 / 265 劳动 / 269 爱 / 275 学习 / 278 等 (动) / 279 送 / 285 要 (动) / 291 穿 / 292 完 / 294 拉

1.2.1 助動詞 (8 語)

032 要 (助动) / 034 能 (助动) / 061 会 (助动) / 093 可以 (助动) / 124 想 (助动) / 264 可 (助动) / 270 能够 / 274 应该

1.3 形容詞 (17 語)

023 大 (形) / 036 小 (形、头) / 040 好 (形、补) / 062 多 (形) / 109 老 (形、头) / 111 高 / 118 新 / 135 全 (形) / 191 一样 / 197 快 (形) / 226 长 (形) / 237 远 / 242 早 / 267 少 (形) / 268 红 / 280 满 / 288 低 (形)

1.4 数詞 (16 語)

004 一 / 035 十 / 043 俩 (数) / 044 三 / 048 二 / 073 四 / 075 五 / 120 百 / 121 九 / 150 六 / 151 八 / 169 万 (数) / 170 七 / 217 千 / 221 多 (数) / 222 半

1.5 量詞 (11 語)

009 个 (量) / 041 年 / 051 天 / 063 种 (量) / 083 次 (量) / 141 条 (量) / 143 些 / 171 点 (量) / 239 只 (量) / 255 位 (量) / 266 块 (量)

1.6 代詞

1.6.1 指示代詞 (9 語)

012 这 (代) / 037 那 (代) / 065 这样 / 105 这个 / 132 这些 / 137 各 / 153 每 (代) / 243 这里 / 299 这么 (代)

1.6.2 人稱代詞 (12 語)

008 我 / 010 他 / 020 你 / 021 我们 / 039 她 / 042 他们 / 050 自己 / 064 它 / 149 您 / 163 你们 /  
185 人们 / 201 大家

### 1.6.3 疑問代詞（5語）

045 什么 / 052 几 / 144 怎么 / 184 谁 / 276 为什么

### 1.7 副詞（21語）

011 就（副、连） / 019 也 / 026 都 / 027 还 / 030 又 / 068 一（副） / 071 只（副） / 078 才（副）  
/ 102 已经 / 103 再 / 136 一定 / 145 却（副） / 175 正（副） / 176 许多 / 202 在（副） / 230 便（连、  
副） / 250 大（副） / 251 并（副） / 252 已 / 258 先 / 259 可（副）

#### 1.7.1 否定副詞（3語）

005 不 / 047 没（副） / 076 没有（副）

#### 1.7.2 程度副詞（5語）

033 很 / 090 最 / 125 更 / 219 真（副） / 281 太

### 1.8 介詞（17語）

006 在（介） / 017 和（介、连） / 028 把（介） / 046 从（介） / 060 对（介） / 069 向（介） /  
085 给（介） / 108 被（介） / 113 为（介） / 179 与 / 198 以（介） / 209 跟（介、连） / 210 为了  
/ 214 比（介） / 215 由 / 225 于 / 293 同（介、连）

### 1.9 連詞（14語）

070 而 / 123 可是 / 140 因为 / 148 但 / 152 但是（连） / 223 所以 / 230 便（连、副） / 238 如果 /  
249 而且 / 282 还是

011 就（副、连） / 017 和（介、连） / 209 跟（介、连） / 293 同（介、连）

### 1.10 助詞

#### 1.10.1 動態助詞（3語）

002 了 / 013 着 / 133 过（助）

#### 1.10.2 構造助詞（6語）

001 的 / 018 地（助） / 038 得 / 162 等（助） / 192 所（助） / 283 之（助）

#### 1.10.3 語氣助詞（6語）

067 呢〈呐〉<sup>4</sup> / 095 吧〈罢〉 / 158 吗 / 195 啊 / 231 呀 / 240 啦

### 1.11 補語

#### 1.11.1 結果補語（3語）

022 到（补） / 142 住（补） / 040 好（形、补）

#### 1.11.2 方向補語（9語）

049 出（补） / 059 起来（补） / 096 下（补） / 100 出来（补） / 101 上（补） / 107 起（补） /  
131 开（补） / 159 过（补） / 241 下来（补）

---

<sup>4</sup> 〈呐〉、〈罢〉は異体字表記。集計の際に、これらの字も統計に含めたことを意味する。

1.12 接頭語 接尾語

1.12.1 接頭語 (3語)

036 小 (形、頭) / 082 第 / 109 老 (形、頭)

1.12.2 接尾語 (6語)

087 們 / 262 者 / 271 性 / 072 家 (名、尾) / 091 手 (名、尾) / 277 員 (名、尾)

1.13 数量詞 (2語)<sup>5</sup>

228 一些 / 260 一点

1.14 小結

以上 300 語のリストを元に、各語の用法を詳述することで、入門、初級段階で学習する“是”字文、動詞述語文、形容詞述語文、“不、(没)有”を用いた否定文、“有”字存在文、“在”字所在文、“比”字比較文、“没有”を用いた比較文、“叫”字使役文、“让”字使役文、“使”字使役文、“被”字受動文、“给”字介詞文、“把”字処置文、“得”字補語文、“给”字二重目的語文、方向補語、数量・時量補語など主要な文型を捕捉することが可能となる。動態助詞、構造助詞、語気助詞もこれら文型に適宜用いて多様な文構造が構成出来るのである。

## 2 孔子学院总部编《汉语国际教育汉语水平等级标准》

《标准》の構成は、

1. 範囲、2. 述語と定義、3. 等級、4. 音節表、5. 漢字表、6. 語彙表

付録 A (規範) 文法レベルガイドライン

となっており、語法に関しては付録に各級出題範囲とポイント、例文が示されている。本稿では日本人学習者、主に大学生を対象に中国語入門、初級段階における語法習得のための到達目標を設定し、学習成果の可視化を試みる。この目標設定に際し、HSKにおける入門、初級段階は同書が定める「初等」を範囲とするのが妥当であると考え。以下、同書「初等」の規定に従って到達目標を確認することにする。

### 2.1 範囲

『標準』に記述される「等級」の基準は以下の通りである。[表 2] を参照されたい。

併せて中検準 4 級・4 級・3 級の基準と比べ合わせることで、両者の差異を知ることができよう。

### 2.2 文法ポイント

『標準』付録 A に記述される「(規範) 文法レベルガイドライン」の基準に沿って、中検 4 級出題された語法問題を関連付けたのが次の [表 5] である。

<sup>5</sup> 連体修飾語 (限定語) としてなのか、それとも数量補語としての使用であるのか不明であるため、ここでは便宜的に「数量詞」として処理することにする。

表2 HSK1級・2級・3級等級区分

1級	2級	3級
<p>聴く、話す、読む、書く初歩的な能力がある。最も身近な話題について、短く簡単な、あるいは受動的な交流を行い、最も基本的なコミュニケーションを完成することができる。</p>	<p>聴く、話す、読む、書く基礎的な能力がある。比較的身近な話題について、簡単に短い交流を行い、簡単なコミュニケーションを完成することができる。</p>	<p>聴く、話す、読む、書く基本的な能力がある。日常生活、学習や仕事などの話題について、簡単な交流を行い、日常のコミュニケーションを完成することができる。</p>
<p>個人情報、日常生活、飲食、交通、趣味などの話題について、これらに関係するコミュニケーションのタスクを完成できる。たとえば、様々な相手に対して最も簡単なあいさつができる。またたとえば、公共の場において、簡単な情報を理解し、質問して確認することができる。</p>	<p>基本的な社交、家庭生活、学習計画、買い物、食事、個人的な感情などの話題について、これらに関係するコミュニケーションのタスクを完成できる。たとえば、友人と中華料理店で注文をし、好きなものを伝えられる。またたとえば、入学書類の情報を理解し、書くことができる。</p>	<p>外出の体験、授業の様子、レクリエーションの活動、祝祭日の風俗習慣、教育や職業などの話題について、これらに関係するコミュニケーションのタスクを完成できる。たとえば、春節などの伝統的な祝日の過ごし方や風俗習慣などについて友人と交流ができる。またたとえば、口頭あるいは書面で比較的正確な招待ができ、他者からの招待に応答できる。</p>
<p>音節269、漢字300、語彙500、文法ポイント48。</p>	<p>音節468、漢字600、語彙1272、文法ポイント129。</p>	<p>音節608、漢字900、語彙2245、文法ポイント210。</p>

表3 中国語検定試験級別出題区分

準4級	4級	3級
<p>中国語学習の準備完了</p>	<p>中国語の基礎をマスター</p>	<p>自力で応用力を養いうる能力の保証（一般的事項のマスター）</p>
<p>学習を進めていくうえでの基礎的知識を身に付けていること</p>	<p>平易な中国語を聞き、話すことができること</p>	<p>基本的な文章を読み、書くことができること</p>
<p>一般大学の第二外国語において半年以上、高等学校において一年以上、中国語専門学校・講習会等において半年以上の学習程度</p>	<p>一般大学の第二外国語において一年以上の学習程度</p>	<p>一般大学の第二外国語において二年以上の学習程度</p>
<p>基礎単語500、日常あいさつ語約80から</p>	<p>常用語約1,000から</p>	<p>常用語約2,000から</p>
<p>○単語・語句の発音、数を含む表現、日常生活における基本的な問答及びあいさつ表現の聞き取り ○単語・語句のピンイン表記 ○基礎的な文法事項及び単文の組み立て ○簡体字の書き取り</p>	<p>○日常生活における基本的な問答、比較的長い会話文または文章の聞き取りと内容理解 ○単語・語句のピンイン表記・声調 ○基本的な文法事項及び文法事項を含む単文の組み立て ○比較的長い文章の内容理解 ○日本語の中国語訳（記述式）</p>	<p>○日常生活における基本的な問答、比較的長い会話文または文章の聞き取りと内容理解 ○単語・語句のピンイン表記・声調 ○基本的な文法事項及び文法事項を含む単文・復文の組み立て ○比較的長い文章の内容理解 ○日本語の中国語訳（記述式）</p>

中検 4 級情報として示した④の記号は第 41 回 (2000 年 6 月試験) から第 105 回 (2022 年 6 月試験) までの筆記問題②、③を整理したものである。同問題②は空欄に当てはまる語を選択肢の中から選択させる問題である。③は語順を問う問題であり、語句の並べ替えと正しい語順の文を選択肢の中から選択させる問題であり、正しい語順の文を選ばせる問題は、日本人学習者の陥りやすい誤りに特化した点に特徴があり、HSK では実現が難しい問題の形態であることが指摘されよう。

中国語は語形 (形態) 変化、語尾の活用を持たない孤立語として、語の順序が文法規則を規定し、文脈に基づく意味を形成するという特徴を有する。中国語習得において、語順をどう構成するかのみが語法のポイントではなく、語用論 pragmatics にとっても極めて重要であることが理解されよう。到達目標として「語法」に加えて「語順」問題を整理し、日本人学習者に特化したチェックリストを作成する事が望まれる。

表 4 HSK1 級・2 級・3 級文法ポイントと中検 4 級語法ポイント

1 級 (48 項目)	2 級 (81 項目)	3 級 (81 項目)
		3.1 形態素
		3.1.1 接頭辞
		01 第一、老一、小一
		3.1.2 接尾辞
		02 一儿、一家、一们、一头、一子
1.1 品詞	2.1 品詞	3.2 品詞
1.1.1 名詞		
01 方位名詞: 上、下、里、外、前、后、左、右、东、南、西、北; 上边、下边、里边、外边、前边、后边、右边、东边、南边、西边 ④		
1.1.2 動詞	2.1.1 動詞	3.2.1 動詞
02 助動詞: 会、能 ④	01 助動詞	
	(1) 可能	
	(2) 可以 ④	
03 助動詞: 想、要 ④	02 助動詞: 该、应该 ④	03 助動詞: 敢
	03 助動詞: 愿意	04 助動詞: 需要
	04 重ね型: AA、A—A、A了A、ABAB	05 動目式離合詞: 帮忙、点头、放假、干杯、见面、结婚、看病、睡觉、洗澡、理发、说话



		06 動補式離合詞 打开、看见、离开、完成
1.1.3 代詞	2.1.2 代詞	3.2.2 代詞
04 疑問代詞：多、多少、几、哪、哪儿、哪里、哪些、什么、谁、怎么	05 疑問代詞：多久、为什么、怎么样、怎样 4	
4		
		07 疑問代詞の非疑問用法
		(1) 任意指示用法
		① 疑問代詞+都…
		② 疑問代詞…疑問代詞…
		(2) 不定指示用法
05 人称代詞：我、你、您、他、她、我们、你们、他们、她们	06 人称代詞：别人、大家、它、它们、咱、咱们、自己	
06 指示代詞：这、那、这儿、那儿、这里、那里、这些、那些、别的、有的	05 指示代詞：那么、那样、这么、这样 4	08 指示代詞：各、各位、各种、每、任何
	2.1.3 形容詞	
	08 形容詞の重ね型：AA、AABB	
1.1.4 数詞	2.1.4 数詞	
07 一、二/两、三、四、五、六、七、八、九、零；十、百；半	09 千、万、亿	
1.1.5 量詞	2.1.4 量詞	3.2.3 量詞
08 名量詞：杯、本、个、家、间、口、块、页 4	10 名量詞：层、封、件、条、位 4	09 名量詞：把、行、架、群、束、双、台、张、支、只、种 4
	11 動量詞：遍、次、场、回、下 4	10 動量詞：顿、口、眼
	12 時量詞：分钟、年、天、周 4	
		11 量詞の重ね型：AA
1.1.6 副詞	2.1.6 副詞	3.2.4 副詞
09 程度副詞：非常、很、太、真、最 4	13 程度副詞：多、多么、好、更、十分、特别、挺、有(一)点儿 4	12 程度副詞：比较、更加、还 <sup>3</sup> 、相当
10 範圍、協同副詞：都 <sup>1</sup> 、一块儿、一起 4	14 範圍、協同副詞：全、一共、只 4	13 範圍、協同副詞：光、仅、仅仅、就 <sup>3</sup> 、至少

11 時間副詞: 马上、先、有时、在、正、正在 4	15 時間副詞: 刚、刚刚、还 <sup>2</sup> 、忽然、一直、已经 4	14 時間副詞: 本来、才 <sup>2</sup> 、曾经、从来、赶紧、赶快、立刻、连忙、始终、已、早已
12 頻度、重複副詞: 常、常常、再 <sup>1</sup> 4	16 頻度、重複副詞: 重新、经常、老、老是、又 4	15 頻度、重複副詞: 通常、往往、总是
13 接続副詞: 还 <sup>1</sup> 、也 4	17 接続副詞: 就 <sup>1</sup> 4	16 接続副詞: 再 <sup>2</sup>
14 否定副詞: 别、不、没、没有 4		
	18 方式副詞: 故意	17 方式副詞: 互相、尽量、亲自、相互
	19 ムード副詞: 必须、差不多、好像、也许	19 ムード副詞: 大概、恐怕
	20 語気副詞: 才 <sup>1</sup> 、都 <sup>2</sup> 、就 <sup>2</sup> 、正好 4	20 語気副詞: 白、并 <sup>1</sup> 、当然、到底、反正、根本、果然、简直、绝对、难道、其实、千万、确实、只好、终于
1.1.7 介詞	2.1.7 介詞	3.2.5 介詞
1.1.7.1 時間、場所を導く	2.1.7.1 時間、場所を導く	3.2.5.1 時間、場所を導く
15 从 4	21 当	20 由 <sup>1</sup>
16 在 4		21 自从
	2.1.7.2 方向、経路を導く	3.2.5.2 方向、経路を導く
	22 往 4	22 朝
	23 向	
	24 从 <sup>2</sup>	
1.1.7.2 対象を導く	2.1.7.3 対象を導く	3.2.5.3 対象を導く
17 跟、和 4	25 对 4	23 为 <sup>2</sup>
18 比 4	26 给 4	24 向 <sup>2</sup>
	27 离 4	
	2.1.7.4 目的、原因を導く	3.2.5.4 目的、原因を導く
	28 为 <sup>1</sup> 4	25 由于 <sup>1</sup> 、因为
		26 为了
		3.2.5.5 動作主、動作の受け手を導く
		27 把、被、叫、让 4
		3.2.5.6 排除を表す

		28 除了 <sup>4</sup>
		3.2.5.7 根拠や依拠するものを導く
		29 按、按照
1.1.8 接続詞	2.1.8 接続詞	3.2.6 接続詞
19 語やフレーズを接続する：跟、还是、和 <sup>4</sup>	29 語やフレーズを接続する：或、或者 <sup>4</sup>	
	30 節あるいは文を接続する：不过、但、但是、而且、那、如果、虽然、只要 <sup>4</sup>	30 節や文を接続する：并且、不光、不仅、另外、要是、因此、由于 <sup>2</sup> 、只有
1.1.9 助詞	2.1.9 助詞	
20 構造助詞：的 <sup>1</sup> 、地 <sup>4</sup>	31 構造助詞：得 <sup>4</sup>	
21 アスペクト助詞：了 <sup>1</sup>	32 アスペクト助詞：过 <sup>4</sup>	
	33 アスペクト助詞：着 <sup>4</sup>	
22 語気助詞：吧 <sup>1</sup> 、了 <sup>2</sup> 、吗、呢 <sup>4</sup>	34 語気助詞：啊、吧 <sup>2</sup> 、的 <sup>2</sup> <sup>4</sup>	
	35 その他の助詞：的话、等	
	2.1.10 感嘆詞	
	36 喂	
		3.2.7 擬声語
		31 哈哈
1.2 フレーズ	2.2 フレーズ	3.3 フレーズ
1.2.1 構造のタイプ	2.2.1 構造のタイプ	3.3.1 構造のタイプ
23 数量フレーズ	37 基本的なフレーズ	32 その他の構造 <sup>2</sup>
	(1) 並列フレーズ	(1) 介詞と目的語のフレーズ
	(2) 修飾フレーズ	(2) 方位フレーズ
	(3) 動目フレーズ	(3) 兼語フレーズ
	(4) 動補フレーズ	(4) 同格フレーズ
	(5) 主述フレーズ	
	38 その他の構造 <sup>1</sup>	33 数量フレーズの重ね型：数詞＋量詞＋数詞＋量詞
	(1) “的”フレーズ	
	(2) 連述フレーズ	
	2.2.2 機能のタイプ	
	39 名詞性フレーズ	

	40 動詞性フレーズ	
	41 形容詞性フレーズ	
	2.2.3 固定フレーズ	3.3.2 固定フレーズ
	42 不一会儿	
	43 什么的	
	44 越来越	
		3.3.2.1 四文字フレーズ
		34 不A不B
		3.3.2.2 その他
		35 看起来
		36 看上去
		37 有的是
	2.3 固定パターン	3.4 固定パターン
	45 还是…吧	38 除了…(以外), …还/也/都… 4
	46 又…又…	39 从…起
	47(在) …以前/以后/前/后	40 对…来说
		41 一…也/都+不/没…4
		42 越…越…
1.3 文の成分	2.4 文の成分	3.5 文の成分
1.3.1 主語		3.5.1 主語
24 名詞、代詞あるいは名詞性フレーズが主語になる		43 動詞や動詞性フレーズ、形容詞や形容詞性フレーズが主語になる
1.3.2 述語	2.4.1 述語	
25 名動詞あるいは動詞性フレーズ、形容詞あるいは形容詞性フレーズが述語になる	48 名詞、代詞、数詞、数量フレーズ、名詞性フレーズが述語になる	
1.3.3 目的語		3.5.2 目的語
26 名詞、代詞あるいは名詞性フレーズが目的語になる		44 動詞や動詞性フレーズ、形容詞や形容詞性フレーズ、主述フレーズが目的語になる
1.3.4 連体修飾語		3.5.3 連体修飾語

27 名詞性フレーズ、形容詞性フレーズ、数量フレーズが連体修飾語になる		45 動詞や動詞性フレーズ、主述フレーズが連体修飾語になる
1.3.5 連用修飾語		
28 副詞、形容詞が連用修飾語になる；時間、場所を表す語句が連用修飾語になる		
	2.4.2 補語	3.5.4 補語
	49 結果補語 1: 動詞+错 / 懂 / 干净 / 好 / 会 / 清楚 / 完 4	46 結果補語 2: 動詞+到 / 住 / 走 4
	50 方向補語 1: 単純方向補語の方向の意味と用法 4	47 方向補語 2: 複合方向補語の方向の意味と用法 動詞+出来 / 出去 / 过来 / 过去 / 回来 / 回去 / 进来 / 进去 / 起来 / 上来 / 上去 / 下来 / 下去 4
	(1) 動詞+来 / 去	48 可能補語 1: 動詞+得 / 不+動詞 / 形容詞；動詞+得 / 不+了 4
	(2) 動詞+上 / 下 / 进 / 出 / 起 / 过 / 回 / 开 4	49 程度補語：形容詞 / 心理動詞+得很 / 极了 / 死了 4
	51 状態補語 1: 動詞+得+形容詞性フレーズ 4	50 数量補語 3 (動詞+動量補語)：目的語と動量補語が共起 4
	52 数量補語 1: 動詞+動量補語 4	51 数量補語 4 (動詞+時量補語)：動作の持続時間を表す 4
	53 数量補語 2: 形容詞+数量補語 4	52 数量補語 5 (動詞+時量補語)：動作が終了してからある時点までの時間を表す
1.4 文のパターン	2.5 文のパターン	3.6 文のタイプ
1.4.1 文型	2.5.1 文型	3.6.1 文型
1.4.1.1 単文		
29 主述文 1: 動詞述語文 4	54 主述文 3: 名詞述語文	53 主述文 4: 主述述語文
30 主述文 2: 形容詞述語文 4		
31 非主述文		
1.4.2 文のタイプ		

32 陳述文 4		
33 疑問文 4		
(1) 諾否疑問文 4		
(2) 疑問詞疑問文 4		
(3) 選択疑問文 4		
(4) 反復疑問文		
34 命令文		
35 感嘆文		
1. 4. 3 特殊な文	2. 5. 2 特殊な文型	3. 6. 2 特殊な文
36 “是” 構文 4		
(1) 同等あるいは所属を表す		
(2) 説明あるいは特徴を表す		
(3) 存在を表す		
37 “有” 構文 1	55 “有” 構文 2	
(1) 所有を表す	(1) 評価、到達を表す	
(2) 存在を表す	(2) 比較を表す 4	
	56 存現文 1 : 存在を表す 4	
	(1) 場所 + 有 + 数量フレーズ + 名詞	
	(2) 場所 + 動詞 + 着 (+ 数量フレーズ) + 名詞	
		54 “把” 構文 1 : 処置を表す
		(1) 主語 + 把 + 目的語 + 在 / 到 + 場所
		(2) 主語 + 把 + 目的語 1 + 動詞 (+ 給) + 目的語 2
		(3) 主語 + 把 + 目的語 + 動詞 + 結果補語 / 方向補語 / 様態補語
		55 受動文 1 : 主語 + 被 / 叫 / 让 + 目的語 + 動詞 + その他の成分
	57 連動文 1 : 前後の動作が続いて発生することを表す 4	56 連動文 2 4

		(1) 前の動作が後の動作の方式であるもの
		(2) 後の動作が前の動作の目的であるもの
		57 兼語文1 使役を表す：主語+叫/派/请/让 …+目的語1+動詞+目的語2 4
38 比較文1	58 比較文2	58 比較文4
(1) A 比 B+形容詞 4	(1) A 比 B+形容詞+数量補語 4	(1) A 比 B+動詞+得+形容詞 4
(2) A 没有 B+形容詞 4	(2) A 比 B+更/还+形容詞 4	(2) A 不比 B+形容詞
	(3) A 不如 B(+形容詞)	(3) A+動詞+得+比 B+形容詞
	(4) A 有 B(+这么/那么)+形容詞	(4) A 比 B+多/少/早/晚+動詞+数量フレーズ 4
	59 比較文3	
	A 跟 B 一样/相同 4	
	A 跟 B 一样+形容詞 4	
	60 “是…的”文1：時間、地点、方式、動作主を強調する 4	
	61 二重目的語文 4	
	(1) 主語+動詞+目的語1+目的語2	
	(2) 主語+動詞+給+目的語1+目的語2 4	
		59 動詞重複文：主語+動詞+目的語+動詞+補語 4
1.4.4 複文	2.5.3 複文	3.6.3 複文
39 並列複文		3.6.3.1 並列複文
(1) 接続語句を使わない		60 (也) …, 也…
(2) 接続語句を使う：一边…, 一边…		61 一会儿…, 一会儿…
		62 一方面…, 一方面…
		63 又…, 又…
	62 承前複文	3.6.3.2 承前複文

	(1) 接続語句を使わないもの	64 首先…, 然后…
	(2) 接続語句を使うもの: 先…, 再 / 然后… ㊦	
	63 累進複文	3.6.3.3 累進複文
	(1) 接続語句を使わないもの	65…, 并且…
	(2) 接続語句を使うもの: …, 更 / 还…; 不但…, 而且…	66 不仅 / 不光…, 还 / 而且…
	64 選択複文	3.6.3.4 選択複文
	(1) 接続語句を使わないもの	67 不是…, 就是…
	(2) 接続語句を使うもの: (是)… , 还是… ㊦	
	65 逆説複文	3.6.3.5 逆説複文
	(1) 接続語句を使わないもの	68 …X 是 X, 就是 / 不过…
	(2) 接続語句を使うもの: 虽然…, 但是 / 可是… ㊦	
	66 仮定複文	3.6.3.6 仮定複文
	(1) 接続語句を使わないもの	69 要是…, 就… ㊦
	(2) 接続語句を使うもの: 如果…, 就…; …的话, 就…	
	67 条件複文: 只要…, 就…	3.6.3.7 条件複文
	68 因果複文	70 只有…, 才…
	(1) 接続語句を使わないもの	3.6.3.8 因果複文
	(2) 接続語句を使うもの: 因为…, 所以… ㊦	71 (由于)… , 所以 / 因此…
		3.6.3.9 目的複文
		72 为了…, …
	69 緊縮複文: 一…就… ㊦	3.6.3.10 緊縮複文
		73 …了…(就) …
1.5 動作のアスペクト	2.6 動作のアスペクト	
40 変化相: 語気助詞“了 <sup>2</sup> ”で表す ㊦	70 持続相: 動詞+着 ㊦	
41 完成相: アスペクト助詞“了 <sup>1</sup> ”で表す ㊦	(1) 状態の持続を表す	



42 進行相	(2) 動作の持続を表す	
(1) …在／正在＋動詞 4	71 経験相：アスペクト助詞“过” で表す 4	
(2) …在／正／正在＋動詞…＋呢 4		
(3) ……呢		
1.6 特殊な表現法	2.7 特殊な表現法	3.7 特殊な表現法
	72 序数の表し方	
	73 概数の表し方 1	74 概数の表し方 2
	(1) 数詞＋多＋量詞	(1) “大概、大约、几”で概数を表す
	(2) 数詞＋量詞＋多	(2) 隣り合わせた数字を連用して概数 を表す
		(3) “左右、前后”で概数を表す
1.6.1 数の表し方		
43 お金の表し方		
1.6.2 時間の表し方		
44 時間の表し方		
(1) 年、月、日、曜日		
(2) 時刻		
	2.8 強調の方法	3.8 強調の方法
	74 “就”で強調を表す	75 “一点儿也不…”で強調を表す 4
		76 反語文で強調を表す 反語文 1：不是…吗？ / 难道…… 吗？
		77 “是”で強調を表す
1.6.3 問いかけの方法	2.9 問いかけの方法	3.9 問いかけの方法
45 “吗”で問う	75 “好吗 / 可以吗 / 行吗 / 怎么样” で問いかける	78 疑問のイントネーションで疑問 を表す
46 “多、多少、几、哪、哪儿、哪里、 哪些、什么、谁、怎么”で問う 4	76 “什么时候、什么样、为什么、 怎么样、怎样”で問いかける 4	
47 “还是”で問う	77 省略式の疑問文“代詞／名詞＋ 呢”で問いかける	

48 反復疑問の形で問う	78 “是不是” で問いかける	
	79 “吧” で問いかける	
	2.10 口語のパターン	3.9 口語のパターン
	80 该…了	79 都…了
	81 要 / 快要 / 就要…了 <b>4</b>	80 X 就 X(点儿)吧
		81 X 什么(啊)

### 2.3 小結

中検 4 級は [表 3] にも記載されるように「単文」までを出題範囲としており、「複文」は 3 級レベルとしている。HSK では 2 級 (2.5.3 参照) から基本的な複文を取り上げている点の中検と大きく異なる。中検 4 級の出題傾向からは HSK3 級と重なる部分も見られるが、中心となるのは HSK2 級の語法レベルであると言えよう。学習者にとっては HSK と中検両者のバランスを図りながら到達目標を定め、受験することで習得レベルを可視化することが望まれる。

## 3 中国語検定試験データの利用

日本人学習者にとって、母語の干渉を受けていないかチェックするための検定試験が中検であることは多言を要さない。日中同形語で同義が問題に成ることは無い反面、同形異義語には思わぬ落とし穴が待っている。語順についても母語である日本語の干渉を受けやすく、目的語が繰り上がって話題主語 (主題) となった場合の語用論的解釈、“把” 構文の発話の意図、“得” (様態 / 状態) 補語の表現形式を始め、補語と目的語の細かな語順のルールを明確に意識している学習者は多くないように思われる。

例えば、近年では語順を整え正しい中国語の文にする問題には、話題主語化された目的語と動量補語 (01)、時量補語と目的語の語順 (02) ~ (06)、動量補語と目的語の語順 (07) ~ (08)、位置移動動詞と空間詞、方向補語の語順について (09)、存現文の出現を表す場合の語順 (10) ~ (11) など、正しく認識していないと正解にたどり着けない問題が多く出題されており、この傾向からは学習者への注意すべきポイント提示という意味合いが感じ取られる。中国語の論理構造と日本語がどう異なるかを指摘するに止まらず、なぜ異なるのか体系的な説明を学習者に理解させる必要があるであろう。

- (01) 那个电影我以前看了两遍。(第 105 回)
- (02) 我今天和朋友打了很长时间的电话。(103)
- (03) 今天我学了一个小时汉语。(102)
- (04) 我每天学习两个小时中文。(099)
- (05) 我昨天看了两个小时电视。(101)
- (06) 我星期天打三个小时网球。(098)

- (07) 你看过几次中国电影？（100）  
 (08) 我看过一次京剧。（098）  
 (09) 老是进教室来了。（104）  
 (10) 前面走来了一个老人。（102）  
 (11) 我们班来了一个新同学。（099）

表5 中国語検定試験準4級・4級・3級重要事項

準4級・4級	3級
1 述語の違いによる文の種類	1 存現文
2 ものの数え方…「量詞」	2 連動文
3 方位の表現…「方位詞」	3 “是…的”構文
4 否定の表現	4 受身文・使役文
5 禁止の表現	5 兼語文
6 疑問の表現	6 “把”構文
7 連体修飾語と連用修飾語	7 比較の表現
8 介詞の使い方	8 疑問代詞の非疑問用法
9 アスペクトの表現	9 アスペクト—動態助詞“着”“了”“过”
10 存在や出現・消滅、自然現象の表現：存現文 場所+動詞+目的語（存在・出現の主体）	10 補語
11 可能、義務、必要、意志、願望などの表現：助動詞	11 離合詞
12 補語	12 動詞・形容詞の重ね型
13 比較の表現	13 量詞のまとめ
14 複文 <sup>6</sup>	14 介詞のまとめ
15 語順	15 “就”“と”“才”
	16 “又”“再”“还”
	17 多音・多義字を含む単語
	18 2音節語の声調の組み合わせ
	19 副詞

<sup>6</sup> 4級レベルの複文として、次の3タイプを挙げている。①“因为…所以…”、②“要是…的话”、③“如果…就…”（pp.65-66）。

<sup>7</sup> 中国語の基本的語順として「誰が+いつ+どこで+どんなふうにする+どれくらい+何を」が提示され、1) 述語動詞の前に置かれるもの[時の表現][助動詞][前置詞(句)][副詞]、2) 述語動詞の後ろに置かれるもの[回数][時間の量]、が示されている。2) で目的語との関係については扱われていない。

## 4 おわりに

[表1]からも明らかなように、HSKは到達目標を数値化し、その内容を具体的に記述することで、達成すべき数値目標を提示する点に特徴を見出すことが出来る。学習成果の測定を行うために、どの段階で何をどれだけ学ぶかを規定しているとも言えよう。漢字、語彙、語法を対象に、レベルごとの学習成果を可視化したロードマップであり、体系的なシステムであると考えられる。

[表2]は到達目標を言語化したルーブリックとして捉えることが出来、学習者にとって自らの到達レベルを具体的にイメージしやすい仕組みが設定されている点も大いに参考となる。学習成果の可視化を実践するためには、今後[表3]をも参考に教育機関として独自の到達目標を構築して行く必要がある。

語順の問題については稿を改め検討することにした。

### 参考文献

中国教育部中外語言交流合作中心主編、古川裕監訳、古川典代訳 2022 『国際中国語教育中国語レベル等級基準 国際中文教育中文水平等級標準 [日本語版]』、アスク：東京  
日本中国語検定協会編 2022 『中検公式ガイドブック準4級・4級』アルク：東京  
日本中国語検定協会編 2022 『中検公式ガイドブック3級』アルク：東京

大島吉郎 2021 「学習成果の可視化に関する試案(1) —中国語初級段階における発音習得を中心に—」、『大東文化大学紀要〈人文科学〉』第59号(pp.193-208)。

大島吉郎 2022 「学習成果の可視化に関する試案(2) —中国語初級段階における語彙習得を中心に—」、『大東文化大学紀要〈人文科学〉』第60号(pp.201-219)。

北京语言学院語言教学研究所編 1986 《現代漢語頻率詞典》，北京語言學院出版社：北京

刘英林・李佩泽・李亚南 2020 汉语国际教育汉语水平等级标准全球化之路、《世界汉语教学》第2期(pp.147-157)。

刘英林・马箭飞 2010 研制《音节和汉字词汇等级划分》探寻汉语国际教育新思维、《世界汉语教学》第1期(pp.82-92)。

卢福波 2001 《对外汉语教学实用语法》，北京语言文化大学出版社：北京

吕必松 2005 《语言教育与对外汉语教学》，外语教学与研究出版社：北京

齐沪扬主编 2008 《对外汉语教学语法》，复旦大学出版社：上海

徐文娟・赵菁 2009 《HSK(初、中等)全攻略语法手册》，商务印书馆：北京

杨德峰 2009 《对外汉语教学核心语法》，北京大学出版社：北京

赵金铭主编 1997 教外国人汉语语法的一些原则问题、《新视角汉语语法研究》北京语言文化大学出版社所收(pp.1-18)。

赵 嫻 2012 对外汉语教学模式研究述评，世界图书出版广东有限公司《国际汉语教育背景下的汉语研究与教学》(pp.215-220)。